円山動物園　中・高校生用（修学旅行生）ワークブック　先生用資料

観察用動物ガイドブック：円山動物園

円山動物園環境教育教材

教科内でできる環境教育教材

対象　中・高校生

目標

円山動物園で飼育されている動物の簡単な説明を基に生徒に動物を観察させ、その動物の生態や取り巻く環境、問題点等を学習させる。

背景

　動物園でただ動物を見るだけではなく、飼育員からの豆知識やメッセージを基に動物に関する理解を深めることで、動物を取り巻く様々な知識や問題についての理解の一助とする。

このプログラムの特徴

　本ガイドブックには、円山動物園で飼育されている動物の一部について観察の上でのワンポイントアドバイスや飼育員からの豆知識やメッセージが乗せられており、単に動物を観覧する以上の理解が得られる。

※　事前学習を行わない場合にも、当ガイドブックは園内の動物の観察手引きとしてもご利用いただけるようになっております。

進め方

掲載されている動物について、ワンポイントアドバイスや豆知識・メッセージを基に、事前に動物に関する事柄を生徒に調べさせ、来園した際に実際にどのようであるか確認させます。

その後、動物全体としても特定の動物に限っても結構ですが、事前調査の内容と動物園で実際に観察した事柄を生徒に取りまとめさせます。

　　　　　　　　　　動物を取り巻く問題や課題を理解する

①

事前学習

「テーマ：動物を取り巻く事柄について調べよう！」

　事前に生徒へガイドブックを配布し、記載されている動物について、「観察のポイント・ワンポイントガイド」や「豆知識・メッセージ」を基に、その動物の生態や取り巻く問題点の下調べを行い、動物に関する知識を深めます。

ポイント

　　　　　　動物を取り巻く事柄を事前に理解させる。

**動物についての理解を深める**

 　　　　　　　　　　 動物をよく観察しよう

②

動物園学習

「テーマ：動物をよく観察しよう！」

事前に調査した事柄について、実際に動物を観察したり、飼育員や園内の動物園ボランティアガイド等に質問することで更に理解を深め、自主的な質問や発想を促します。

ポイント

新たな発見・確認により、動物に関する知識を深める。

**実際に動物を観察し、動物を取り巻く事柄に興味を持たせる。**

 　　　　　　　　動物園で観察したり調べた事柄をとりまとめて発表。

③

事後学習

「テーマ：動物を取り巻く事柄を理解しよう！」

動物園で観察したことや飼育員等に聞き取りしたことについて、とりまとめをします。

単に動物園へ来て動物を見るだけでなく、環境破壊や生態系維持等に関する動物を取り巻く様々な事柄を生徒に考察させます。

ポイント

動物に関する事柄の理解を通じ、環境や生態系との関連性について理解を深める。

**動物の理解を通じて環境問題等に視野を広げる**